

緊急事態に備えてのチェックリスト
「在留邦人配布用」

1. 旅券

- (1) 6か月以上の残存有効期間があることを確認してください（ない場合には当館に再発給を申請）。
- (2) 最終頁の「所持人記載欄」は漏れなく記載。下段に血液型（blood type）を記入。
なお、当国における外国人登録証明書、滞在許可証等はいつでも持ち出せる状態にしておいてください。

2. 現金、貴金属、貯金通帳等の有価証券、クレジットカード

緊急時には旅券同様すぐ持ち出せるようにしておいてください。現金は家族全員が2週間程度生活できる外貨及び当座必要な現地通貨を予め用意しておくことをお勧めします。

3. 自動車等の整備

- (1) 自動車をお持ちの方は、常時整備しておくよう心がけてください。
- (2) 燃料は十分入れておくようしてください。
- (3) 懐中電灯、地図、ティッシュ、金槌（水没時の窓ガラス破壊用）等を備えてください。
- (4) 自動車を持っていない方は、近くに住む自動車を持っている人と日頃から連絡をとり、必要な場合に同乗できるよう相談しておいてください。

4. 携行品の準備

避難場所への移動を必要とする事態に備え、上記1～3に加え、次の携行品を備え、すぐ持ち出せるようにしてください。

- (1) 衣類・着替え（長袖・長ズボンが賢明。行動に便利で、人目を引くような華美なものではなく、麻や綿等の吸湿性、耐暑性に富む素材が望ましい）
- (2) 履物（行動に便利で靴底の厚い頑丈なもの）
- (3) 洗面用具（タオル、歯磨きセット、石鹸等）
- (4) 非常用食料等

自宅待機する場合も想定して、米、調味料、缶詰類、インスタント食品、粉ミルク等の保存食及びミネラルウォーターを家族全員が2週間程度生活できる量を準備しておいてください。

(5) 医薬品

家庭用常備薬、常用薬、外傷薬、消毒用石鹸、衛生綿、包帯、絆創膏、虫除け薬品など。

(6) ラジオ

NHK海外放送（ラジオ・ジャパン）、BBC、VOA等の短波放送が受信できる電池使用のもの（電池の予備も忘れないようにしてください）。

(7) その他

懐中電灯、予備バッテリー、ライター、ロウソク、マッチ、ナイフ、缶切り、栓抜き、紙製の食器、割り箸、固形燃料、簡単な炊事用具、ヘルメット、防災頭巾（応急的に椅子に敷くクッションでも可）（この他、携行可能であれば、毛布、雨具、ビニールシートなど）